

市民病院広報 第4号

童んおとし子



- 目次 -

表紙(クリスマス会)中津良保育園の園児	1
市民の声	2
新春インタビュー(押淵院長)	3
花粉症	4
ノロウィルスについて	5
年男年女	6~7
クリスマス会	8
委員会紹介	9
お知らせ	10
バイキング	11
紐差教会、編集後記	12

平成17年1月

発行 平戸市民病院
平戸市草積町1158-1

TEL 0950-28-1113

FAX 0950-28-0800

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/hospital/>

編集 広報委員会

市民病院の今後の展望等をお聞かせください。

院長 市町村合併で自治体が広域化しますが、市民の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らせる町づくりの拠点施設となることは今後も変わりありません。

市民病院では、併設の保健センター「サン・ケア平戸」と共に、これまで蓄積してきた業績を全市的に展開したいと考えています。



広報編集委員

市民の声

院内の人材育成に努めて
市民に期待される病院に



野子町 松永 敦子

市民病院開院から10年、長いようで短くも感じられます。10年前、南部病院と紐差病院が合併して1つの病院になると聞いた時、自宅から病院までの距離が長くなり不安を感じたものでした。

しかし、開院と同時に他の病院に類を見ない保健センターまで設置し、そして、毎年の健康診断まで行い、それによってどれほど多くの方が早期発見で命を救われたことでしょうか。

これからも、院内の人材の育成に努められ、市民病院がもっと大きくなりますことを、市民の一人として願っております。

地域の医療ニーズに
応える病院に



根獅子町 浜崎 保久

市民病院には、我が家の全員がお世話になっています。子供が小さいときは、病気、負傷が絶えず、保険証に記載する欄がなくなるほどでしたが、子供が成長した今では、父が昼夜を問わずお世話になっています。

また、平成12年に弟が福岡の病院から転院してきた時、「市民病院はきれいで空気はいいし、環境も良く、病気が治ったごたる」と言っていたことを思い出します。

少子高齢化が進み、老人世帯の割合が年々高くなるなど、多様化する市民のニーズに応える地域の医療機関として、市民病院が益々発展されることを祈念しています。

地域に愛され、信頼される、包括医療をめざして

新春インタビュー

院長 押 淵 徹

聞き手 広報編集委員



市民病院を開設して、今年が10年目を迎えますが、これまでを振り返って、とくに苦労されたことや印象に残っていることは、どんなことでしょうか。

院長 平成8年に2つの病院（紐差病院・南部病院）を合併統合して、現在の市民病院が開設されましたが、開設当初は、それぞれ独自の運営方針の基に経営がなされてきた病院を、1つの目標に統一する作業が一番大変でした。また、合併当初は、南部病院から引き継いだ4億3千万円に上る不良債務をいかに解消していくかが、最大の懸案事項でしたが、市民の皆様には地域の病院として愛され利用していただき今日を迎え、平成13年度には、不良債務の全額を解消することができました。これは、職員のたゆまぬ努力と皆様のご理解の賜物と感謝しています。

今日では、紐差病院から引き継がれてきた健診事業や在宅事業を、さらに発展させることができ、また、国際シンポジウムや国診協全国現地研究会の当院での開催などの大事業を成し遂げることができたことは、これまでの苦労が報われた想いがします。

市民病院の基本理念に「包括医療の実践」が掲げられていますが、院長がめざしている地域包括医療とは。

院長 平戸市の中、南部地域は、医療資源の大変乏しい地域ですから、子供から高齢者までのあらゆる世代に、医療、保健、介護、福祉サービスを効率よく提供し、健康の増進と福祉の発展に貢献することが、地域包括医療の原点と考えています。

院長は、全国国診協（全国国民健康診療施設協議会）の調査研究部会の部会長として、全国的な調査研究事業に取り組まれています。これらは今後どのように活用されるのでしょうか。

院長 全国の国診協参加の診療施設は、ほとんどが私たちの地域と同じ困難な地域に立脚しています。同じ課題を抱える地域の課題をともに克服することを目的として、様々な研究事業に取り組んでいますが、今後、研究の成果を病院事業の発展に役立てていきたいと考えています。

医師確保が大変厳しくなってきたということをお聞きしますが、市民病院での医師確保の現状は。

院長 国立大学の独立行政法人化や新臨床研修医制度により、大学からの医師派遣体制は、大変厳しい現状にあります。当院においても残念ながら、整形外科について大学からの医師派遣が厳しくなり、各方面に働きかけをしていますが、新年度からの診療体制が憂慮されるところです。医師確保の問題は、長崎県の医療行政の中心課題として、解決策を県レベルで検討していますが、私もその委員として意見を述べています。一方、明るい材料も見えつつあります。国診協、全国自治体病院協議会、国保連合会も関心をもち支援体制を構築いただいています。この4月からは、内科診療体制が充実される見通しです。また、支援の柱である長崎大学医学部への働きかけも、今後一層強めていきたいと考えています。

花粉症猛威の兆し

今春の花粉飛散予想は去年の5倍

2004年春 長崎県花粉飛散数 558
 2005年春 花粉飛散予想数 2500
 1平方センチ当たり

「花粉症」

現在、日本人の約二〇%が花粉症だといわれています。花粉症とは、スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となつて、くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状をきたす病気です。

アレルギー性鼻炎は、原因物質(アレルギー)によつて二つに分類されます。

「通年性アレルギー性鼻炎」

アレルギーが一年中あるので、症状も一年中あります。主なアレルギーは、ダニ、家の中のちり、ゴキブリなどの昆虫、ペットの毛など。

「季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)」

原因となる花粉の飛び季節に症状があります。日本では、約六十種類の植物により花粉症を引き起こすと報告されています。おもなアレルギーは、スギ、ヒノキ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカバなど。最近、通年性アレルギー性鼻炎と花粉症の両方に悩む人や複数の花粉に反応し、ほぼ一年中悩まされる人も少なくありません。

花粉症とかぜの見分け方は？

かぜは通常、一週間程度でなおりますが、花粉症は、原因となる花粉が飛んでいる間、ずっと続きます。また、かぜの場合は、数日でねっとりとした鼻汁になります。花粉症は、さらさらとした「水っぱな」のままです。そのほか、目のかゆみがあれば花粉症、熱がでていればかぜの疑いが強いということになります。花粉症と思ったら、専門医に診断してもらいましょう。

花粉のシーズンを迎えたら

花粉を吸い込まないのが基本。風の強い晴れた日は、外出は控えめに、外出する場合は、プロテクタ付のメガネ、マスク、スカーフ、帽子の着用をする。

服は、花粉のつきにくいスベスベした素材を選ぶ。

髪をコンパクトにまとめ、花粉が髪につかないように

家に入る前は、玄関先で服や髪、物についた花粉をはらう。

帰ったら、手・顔・目・鼻を洗うがいをする。

「花粉症」の治療

花粉症は、短期間で完治させることはできません。それでも、薬でつらい症状を楽にすることはできますし、気長に構えれば、もとから治すことも可能です。

内服薬

くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの原因となるヒスタミンをおさえる成分が入っていますので、つらい症状をやわらげます。効きめが長く、持続するように工夫された薬もあります。

点鼻薬

鼻水、鼻づまりを速やかにとめることができます。また、充血やはれを抑え、鼻の通りをよくします。

目薬

目のかゆみや充血をやわらげます。

二週間前から始める予防法

花粉が飛び始める二週間ほど前から、抗アレルギー薬をあらかじめ用いておくことで、症状を軽くすることができます。

ノロウイルスについて

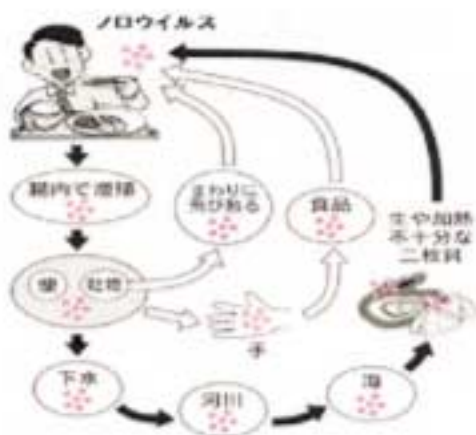
食中毒は、細菌やウイルス・自然毒・化学物質などが原因で発生します。食中毒というと、梅雨時や夏に多いイメージがありますが、冬も多く発生します。その原因の多くは「ノロウイルス」によるものです。

< ノロウイルス食中毒とは？ >

冬から春先にかけて発生することが特徴で、食べてから1～2日後に、吐き気やおう吐・腹痛・下痢・軽度の発熱などが出ます。以前は「小型球形ウイルス」と呼ばれていましたが、平成15年8月に食品衛生法施行規制の改正で「ノロウイルス」に改められました。

< 感染経路は？ >

ノロウイルスは、食品内で増殖せず、患者の腸内で増殖し便に排出されます。そして、下水を通じて河川、海へと流れ、二枚貝の内臓に蓄積されるのです。



現在流行中のノロウイルスについてご紹介します。

ノロウイルスで汚染された地域の二枚貝（長崎県外産）を生や不十分な加熱調理で食べたり、手や調理器・患者の便、吐物からの二次感染で食中毒になります。

< 感染防止と予防 >

加熱処理で感染防止：二枚貝の生食はできるだけ避け、十分に火を通して食べましょう。

手をよく洗って予防：トイレの後・調理の前・食事の前に、必ず行いましょう。（ノロウイルスは、症状が治まった後も1～2週間程、便に排泄されるといわれています）

調理器具もよく洗う：熱湯などで消毒しましょう。

< 二次感染に注意!! >

患者の便や吐物を片づける時は、ビニール手袋を使用して、直接手に触れないようにしましょう。

汚れた衣類・雑巾は、塩素系漂白剤（10～50倍希釈）に浸し、消毒しましょう。

症状がある時は、早めに医師・看護師にご相談ください。

とり 酉年 年男年女



四田 さゆり



ダイエットにはげみます。

村川 紀美子



今年の私のテーマは
“女らしく”です。

西原 政子



今年の目標として、心に
ゆとりをもって、この一年
頑張りたいと思います。

福田 和子



幸福な家庭、良い職場に
恵まれて、去年は、本当に
良い年でした。

今年は酉年で、年女でも
あり、鳥のように羽根をい
っぱい広げて、幸福を包み
たいです。

川口 容子



どんな時も笑顔でさわや
かに...を忘れず、仕事も家
庭も頑張ります。

松山 洋子



“人見るもよし、人見ざるも
よし、我は咲くなり”の言葉の
様に、自然体で頑張っていこう
と思ってます。

濱田 美津江



前向きに明るく笑顔で
過ごす事を目標に、一日
一日を大切にしたいと思
います。





福をよぶ♪♪

小楠 美春



風邪をひきやすいので、健康管理には十分気をつけて、毎日、笑顔で患者様に接することができるように頑張ります。

柴山 邦子



子供も大きくなり、自分の趣味を見つけて楽しみたいです。

富村 由美



今年も、毎日元気で笑顔で過ごせるように頑張ります。

廣田 秋子



一年、心も身体も健康でありたいと思います。そして、廻りのこと相手の立場になって、考えられたらいいと思います。

鋒屋 ゆり



自己管理に気をつけ、無欠席で頑張る。

江田 由紀子



受付窓口業務をしています。忙しい時にこそ、一呼吸おいて仕事をしようと思がけています。

種岡 新



酉年にちなんで大きくはばたきたいところですが、何分重量オーバーで、離陸が不安です。

漆 晶子



お料理が上手になりたい。



メリー・クリスマス

12月14日に、クリスマス会が開かれました。平戸伝統の田助ハイヤ節で幕開けです。踊子は、療養病棟スタッフで、年齢に関係なくハイヤ節の衣装を身にまとうと、皆さんとてもかわいく見えました。

一般病棟からは、昨年一番人気の“冬のソナタ”をハングル語で熱唱しました。ヨン様も登場し、皆さんの目はハートマークでしたね。

なんと言っても、ボランティアで参加していただいた中津良保育園の園児の皆さんのかわいい踊りは、皆さんの顔をほころばせ、まるで自分の孫を見ているようでした。大塚ヘルシーの元気の出る踊り、山崎さんの優雅な踊り、山元さんのハーモニカとクリスマス会が盛り上りました。今回はご家族の方もたくさん参加いただきました。

皆さんありがとうございました。今年のクリスマス会にも、ぜひ、ご参加ください。



行ってきました!!嬉野・鹿児島旅行

11月27・28日に職員13名は、夕方に平戸を出発し嬉野温泉へ行ってきました。

2日目には、九十九島の遊覧などを楽しんできました。少人数でしたが、思い出に残る楽しい旅でした。



12月4・5日は第2班の職員旅行、参加者28名は、鹿児島、熊本へ行ってきました。

平戸を出る時は、曇り空でしたが、鹿児島に着く頃はあいにくの雨。噴煙の桜島も見ることができません(残念、、、)。車窓からの見学となりました。宿は霧島温泉、宴会では皆さんストレスを発散していたようです。2日目は、天気も回復し、雄大なえびの高原を越え、人吉で川くぐりを楽しみました。



委員会の活動を紹介

「にこちゃんマーク」で転倒防止

2.) 医療・介護安全対策委員会

患者様に安全で質の高い医療・看護・介護を提供することを目的に、15名の委員で活動しています。「医療事故」という言葉を報道などで耳にしたことがあると思います。そのような大きな事故を起こさないように、毎月1回委員会を開き防止策を検討しています。また、研修会に参加したり、定期的に学習会も行っています。1月17日からは、車椅子からの転倒・転落を防止する目的で、車椅子にマークをつけて、職員全体で防止しようという取り組みを実施しています。

このマークは「にこちゃんマーク」と名づけました。これからも皆様が安心して満足のいく治療・看護・介護を受けられるようスタッフ一同努力していきます。



私たちの職場を紹介します 3階病棟です



3階病棟は、療養型病棟となっています。

一般病棟と異なり、積極的な治療が終わり、病状が安定した方が対象です。

少しでも早く、地域や家庭で生活できるように、リハビリを中心に機能回復をめざす病棟です。スタッフは24名、平均年齢は・・・秘密

これからもどうぞよろしく願っています。

薬局です

毎日健康で、仕事ができる喜びに感謝しながら、患者さん、病院経営に対し何が出来るかを考えながら業務にあたりたいと思っています。

『薬局スタッフ』

石田 由美(宝亀町) ... 写真中央

看護師特有の処方チェックが、素晴らしい。

家庭の事情でパート勤務なのが残念です。

山村 千草(大石脇町) ... 写真左

2004年10月から、前任の江川弘子さんの後に勤務しています。不慣れな点もありますが、頑張ります。

西川 貞夫(紐差町) 勤続26年目になります。



外来アンケートに答えて

「車イス」を増車、「歩行補助車」も新たに備えました

「竜んおとし子」第3号で紹介したとおり、昨年実施した患者様アンケートで、外来に「押し車」や「歩行器」を増やしてほしいという要望をいただいていた。

市民病院では、皆様のご要望にお答えし、このほど、外来に「車イス」2台を増やした他、「歩行補助車」1台と四点支持杖1本を新たに購入し、ご来院の皆様にご利用いただいています。患者様からは、院内での移動が楽になったと喜ばれています。今後とも、病院に対するご意見やご要望をお寄せくださるようお願いいたします。



院長から「大型プラズマテレビ」を寄贈いただきました

市民病院の外来ロビー(薬局横の壁)に、昨年夏からひととき大きなプラズマテレビが設置され、ご来院の皆様にお楽しみいただいています。

このテレビは、押淵院長が、平成15年3月に医療分野で権威ある「医療功労賞」を受賞されましたが、その記念としてワイドテレビ2台とともに寄贈いただいたものです。

プラズマテレビは、55インチの大型スクリーンでハイビジョンを内蔵した最新鋭のテレビで、1階ロビーに昨年8月に設置され、外来の待ち時間等にご利用いただいています。

また、2台のワイドテレビ(32インチ)は、2階と3階のディルームに設置され、入院患者様にご覧いただいています。寄贈いただいたテレビは、想いでの受賞記念品として、大切に利用していきたいと考えています。

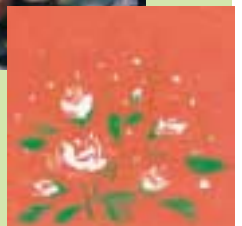
ご寄贈ありがとうございました。



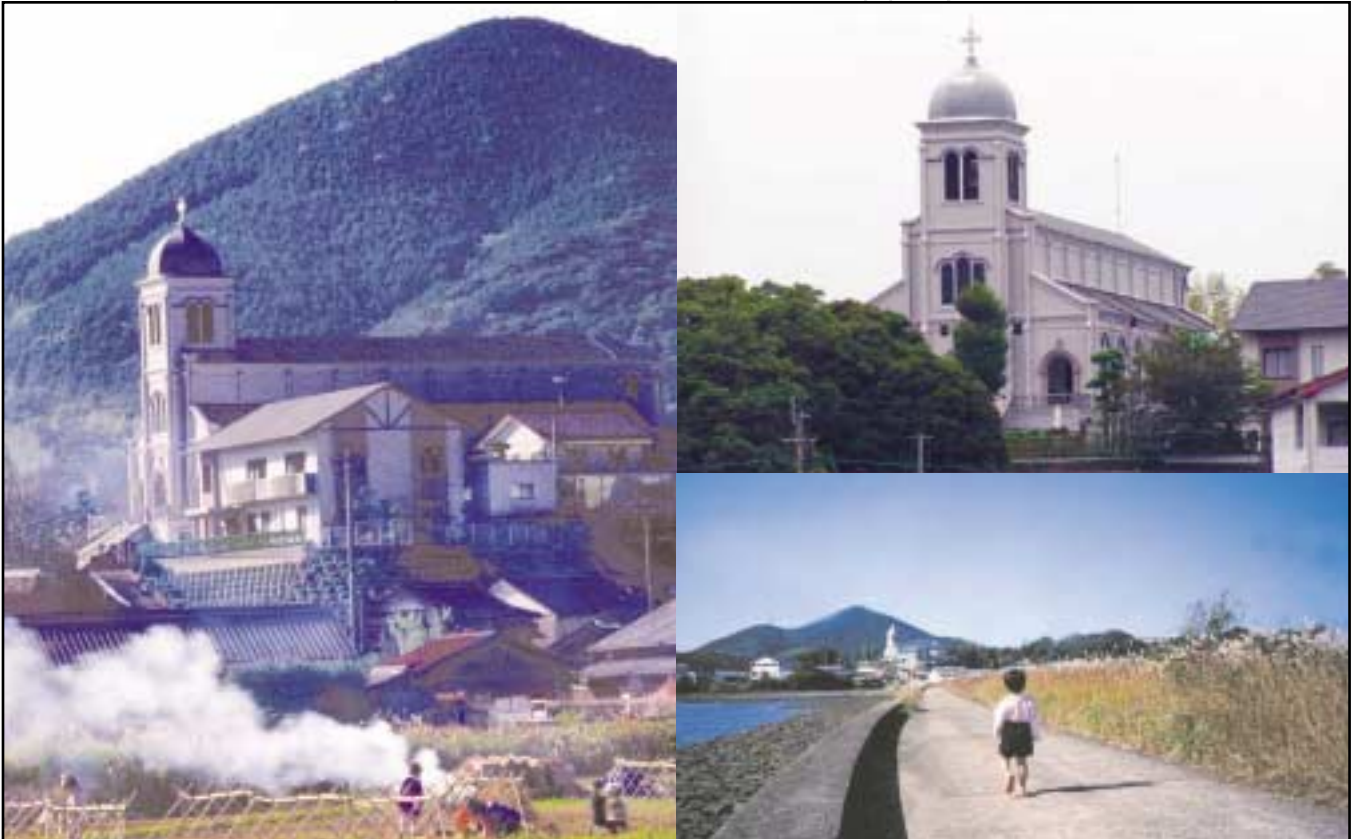
クリスマスデザートバイキング

昨年12月7日、入院患者様を対象にデザートバイキングを行いました。

メニューは、クリスマスということでケーキを主とし、果物・ゼリー・コーヒー・ジュースなどいろいろ取り揃えました。ふだんは食堂に出て来られない方も出て来られ、違った雰囲気を楽しめました。



紐差カトリック教会



カトリック紐差教会は、昭和4年(1929)、紐差の町を一望する高台に、教会堂設計で著名な鉄川与助によって建てられました。鉄筋コンクリート造で、梁間48尺(約14.5m)に桁行144尺(約43.6m)と規模が大きく、礼拝空間が2階に設けられているのが特徴です。天井や壁面につけられた花や葉の彫物が、ステンドグラスとともに堂内を華やかに演出しています。現在の教会堂が建つ以前にあった旧紐差教会(明治18年宣教師マダラカによって設立)は、紐差教会の布教範囲であった馬渡島(佐賀県東松浦郡鎮西町)に、昭和3年(1928)に移築され、馬渡島教会として現存しています。

編集後記

お正月はいかがお過ごしでしたか？

待ちに待ったお子さんやお孫さんが帰省して、にぎやかに過ごされた方や忙しい仕事もひと休みして、おいしいお酒やおつまみで盛りあがった方、また、体重が増えてびっくりした方など・・・思い思いの楽しい正月を過ごされたのではないのでしょうか。

今回の「竜んおとし子」は、新年号で増ページ！内容も盛だくさんに仕上げてみました。できればはいかがでしょうか。

今年も、少しでも多くの皆様に「竜んおとし子」をご愛読いただけるよう、いろいろな話題を取り上げていきたいと思えます。よろしくお願いたします。まだまだ、寒さも続きますのでお体には十分気をつけてください。

(漆)